

第 3 学年	教科名	数学	名張市立赤目中学校 2025年
--------	-----	----	-----------------

○ 学習のねらい

○ 基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする論理的に解決する技能を身に付けるようにする。
○ 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
○ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

○ 学習の仕方

使用教材	教科書 これからの数学3（数研出版） 副教材 基本ノート3（新学社）	もちもの	教科書 ノート 問題集 ファイル
学習の進め方	★授業の受け方 ○数学的事象に興味をもって授業に参加する。 ○発表するときや班活動では、自分の考えを相手にわかりやすく伝えるようにする。 ○友だちの発表や意見をしっかりと聞き、理解を深めるとともに新たな考え方に気づく。 ○先生の指示をよく聞き、仲間と協力して課題解決に取り組む（アクティブラーニング）。 ★ノートの取り方 ○解答ではなくそれまでの過程を、計算式を使って論理的に書くようにする。 ○先生が話した内容や自分で考えたこと等を補足しながら、わかりやすくまとめる。 ★考察 ○さまざまな公式や定理をあらゆる問題で活用し、計算過程を明確にしておく。 ○わからない問題に対して、仲間と意見を出し合いながら課題解決を行う。 <定期テスト・単元別テスト・単元別レポート> ○ノートや教科書を用いて語句や公式を確認する。また、その語句がどのような意味なのかを説明できるようにし、公式をあらゆる場面で用いるようにする。 ○問題集やプリントの問題などのさまざまな問題において自分の考え方や解き方を明確にしておく。 ○提出物は計画的に進めておく。 定期テスト・単元別テスト・実力テスト ○単元ごとに知識や理解を深めるために、テストを行う。その方法を用いることにより、前時の単元と次時の単元とのつながりを深める。 単元別レポート ○単元ごとの理解を深めるためにも、単元ごとの重要な事、自分なりの解法をまとめる要約力をつける。 <家庭学習> ○授業のノートや教科書をもとに、新しく学習した用語や公式をきちんと理解しておく。 ○日頃から授業内容の復習を行い、わからないところや間違ったところを確認しておく。 ○授業内容と身近な生活における数学的事象との関わりを調べ、自分の考えをまとめる。 ○問題集やプリントの問題を繰り返すことで、知識や考え方を定着させる。		

				評価にあたって		
学期	月	単 元 計 画	試 験	評 価 観 点		評価の場面・方法
1 <						